

# ほけんだより

令和3年2月  
楠葉西中学校  
保健室



1月15日(金)に、1年生で助産師さんによる性教育を行いました。保健専門委員に赤ちゃん人形を運んでもらったり、授業の連絡をしてくれたりと活躍してくれました。



## 1組 生徒の感想より

出産するタイミングを赤ちゃん自身が決めているといわれているという話がとても面白いなと思いました。ビデオの産まれてきた自分の子どもにまず「がんばったね」と声をかけるお母さんもとても印象に残りました。自分が生まれるときにいろいろな工夫と苦勞をして生まれてきたことに全然実感が沸かないけど、とりあえず今は両親からもらった命を大切に過ごしていきたいです。

18億分の1だそうです。

## 2組 生徒より

ぼくが38億分の1の確率で生まれているのがびっくりしました。ぼくが生まれているのはすごい奇跡だと思います。そして、うむお母さんもすごく痛くて生んで、そして育てるときは3時間ごとに起きないということにびっくりしました。すごい大変な思いをしてうんで育ててくれたことに感謝をしないといけないと思いました。そして赤ちゃんが小さいころから様々な工夫をしてうまれてくるのがすごくかっこいいと思いました。今日話を聞いてよかったです。

## 4組 生徒より

赤ちゃんが生まれることは親と赤ちゃんのがんばりからなることなんだと分かった。赤ちゃんが親の体内から出るために体の形を変形させたりするのがびっくりしました。また、人には他の人を笑顔に喜ばせるすごい力があるんだなあと思った。そして、自分と相手のことを思いやることが人を守ることに繋がると知れてよかった。今回は、そんな中でも印象に残っているのは言葉の力だった。一つ言葉をいうだけで人を笑顔にさせることもできるし、傷つけることもできる。だから相手を笑顔にできる言葉を発言したい。また、自分がいやだなどのNOという言葉はいえるか、そしてその言葉に対して怒らず納得できるかということも重要だと分かった。

## 3組 生徒より

自分がもう思春期で初めてのことがたくさん起こったりして少し不安になったりしてしまうかもしれないので、そんな時の対処法など色々な役に立つことを教えてもらいいい機会になった。最近反抗期とかでイライラしてしまったり親に暴言をはいたりすることが多くなっているので、そういう時は人や物に当たらず、自分の好きなことをしたりして心をリフレッシュしたらいいと思った。今日は今のことだけでなく未来のことについても考えた。赤ちゃんを産んだ女性はとても気持ちが不安定なので自分がしっかり支えていかなくてはと思った。

生きているって、どんなこと?

ごはんが毎日おいしい  
友だちと遊んでおもしろくてしかたない

いいね。それも生きている

ダメ、ムリと思ったことができた

つらいな一と思ってたけど、友だちに助けられてのりこえた

素晴らしいね。それも生きている

友だちとケンカして悲しい  
悪口を言われて腹が立つ

つらいね。でもそれも生きている

やりたい役割をやらせてもらえなかった  
どうしても勝てないライバルがいる

そんなこともあるね。それも生きている

みんなが一つずつ持っている「いのち」。だから、毎日いっしょうけんめい生きている!





## with コロナ + 防災

保健専門委員会では、新型コロナウイルス感染症予防活動として、月・水・金曜日の昼休み、放送で手洗いや換気について呼びかけを行いました。自分の番が終わったら、赤いバトンを次の人へ渡しています。1年生は、朝読の時間にクラスで呼びかけをしました。



また、災害時、身近にあるもので作れる防災グッズの制作も行い、保健室前の廊下に掲示しています。あみだくじクイズになっています。作った防災グッズは、図書室にも防災特集として置いていただきましたので、ぜひ図書室にも足を運んでください。

大地震や台風、集中豪雨、土砂災害などが起こった時、避難所ではどんなものが必要になるのかなどイメージをふくらませました。

災害時、困ったり、不安になったときにも、「作って守る」ことができること。何かを作ることは、物を作るだけでなく、それ自体が楽しいこと。「作る」には、「楽しみも作る」ことができ、心がどんどん生きようとするにつながっていくこと。

皆の新鮮なアイデアが新しいチャレンジにつながっています。



図書室の防災特集として

下記は、山田中学校で作成されたクイズです。  
楠葉西中学校の皆さんも、この暗号文解くことができますか？  
答えがわかった人は、周りの皆に呼びかけてあげてください。

